



改善・再発防止策の進捗状況等について

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

2024年4月1日



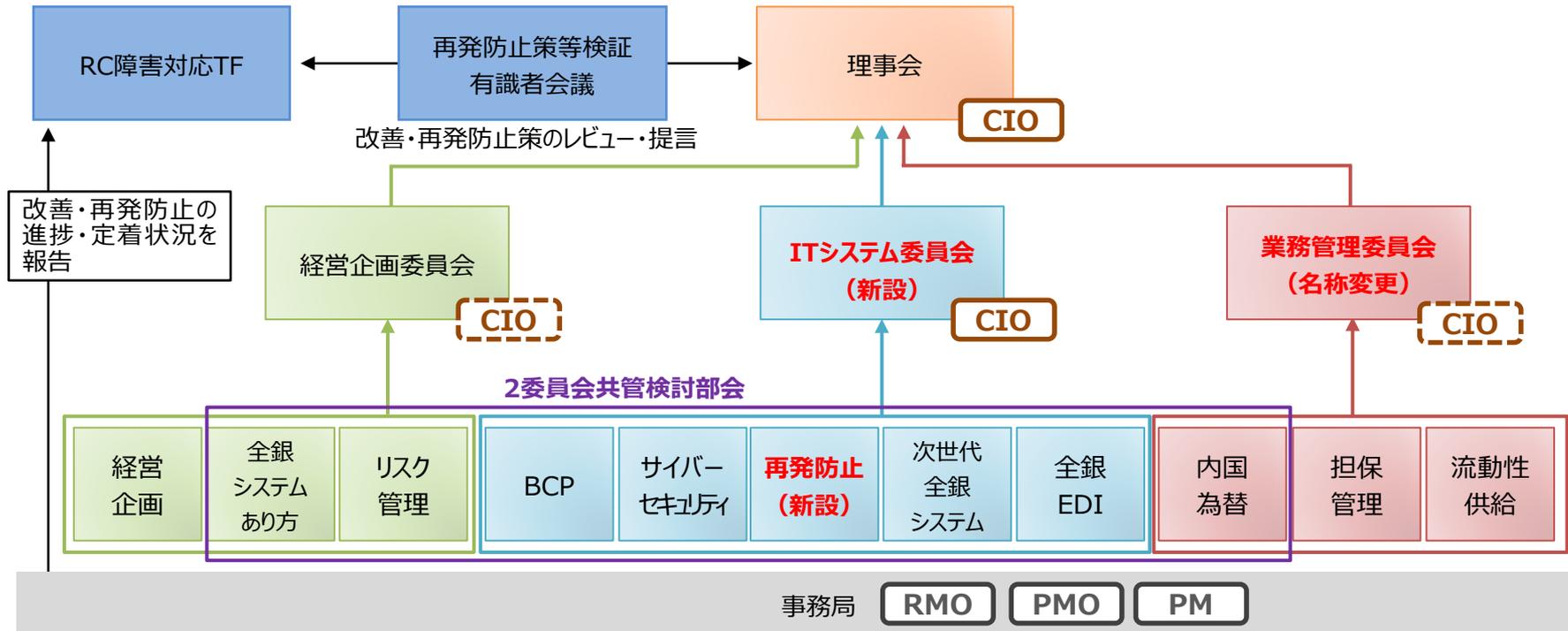
改善・再発防止策の進捗状況と今後の対応

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況・今後の対応
委託者としての マネジメント不十分	<ul style="list-style-type: none"> ベンダーにおける設計のレビュー体制や試験内容の十分性の確認を行う委託先管理の体制整備 東阪同時障害や加盟金融機関影響を踏まえた移行方法・時期の検討 障害復旧対応に係る優先順位の整理、適切なタイムマネジメントについてマニュアル化 	<ul style="list-style-type: none"> 開発管理・委託先管理・障害管理等の関係諸規則を制定・改正し、左記改善・再発防止策を取り込み なお、移行については、プロジェクト特性を踏まえた適切な方法を策定・実施する旨を明記 今後、研修等を通じて改正内容等の浸透・定着を図る
加盟金融機関も含めた BCPの実効性不足	<ul style="list-style-type: none"> 必要なコンティンジェンシープランの策定、移行時の必要十分な人員体制の整備 代替手段に係る運用ルールを整備・強化 代替手段運用訓練のシナリオの見直し等、実践的な訓練を通じた実効的なBCP確立 	<ul style="list-style-type: none"> 内国為替制度関係諸規則等を改正し、左記改善・再発防止策を取り込み 訓練のシナリオについて、代替手段の実運用に沿った内容に見直し 今後、見直したシナリオにもとづき加盟金融機関と訓練を実施
大規模障害を想定した 全銀ネットにおける 危機管理体制の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> 加盟金融機関とそのお客さまを意識した対外公表内容の事前整理・マニュアル化 大規模障害時の全銀ネットにおける対応体制・役割分担の明確化 全銀ネット内部の研修・訓練に大規模障害を想定した内容を追加し実効的な体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 障害管理等の関係諸規則を改正し、左記改善・再発防止策を取り込み 今後、研修等を通じて改正内容等の浸透・定着を図る
システム人材の不足と 組織の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> 人材強化、加盟金融機関からの出向受入・外部採用 CIOの設置による体制強化、IT・システム関連の委員会設置など検討体制の見直し 第三者評価における実効性あるチェックの重視 	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日付でCIOを設置し組織体制を強化するとともに、ITシステム担当役員が参加する委員会を新設し検討体制を強化（詳細は次頁参照） 加盟金融機関からの出向者については、2024年度第1四半期中に、常駐勤務を開始予定 開発管理の関係諸規則を改正し、第三者評価に係る左記改善内容を取り込み



2024年度の検討体制

- 各銀行のITシステム担当役員で構成される「ITシステム委員会」を新設し、常設3委員会体制とする。CIOは理事会および委員会に出席する
- ITシステム委員会はシステム関連の議案を所管するが、検討テーマに応じて、経営企画委員会、業務管理委員会（現業務・システム委員会）と合同で討議を行う
- また、2024年度中の報告徴求命令への対応を踏まえ、「再発防止対応検討部会」を新設。同検討部会において改善・再発防止策の進捗状況の管理等を行う
- なお、加盟金融機関からの出向者については、RMO（リスク・マネジメント・オフィス）・PMO（プロジェクト・マネジメント・オフィス）・PM（プロジェクト・マネージャー）として開発プロジェクトを管理する





(参考) NTTデータにおける改善・再発防止策の進捗状況

- NTTデータにおける各改善・再発防止策については、全銀ネットにおいて以下のとおり進捗していることを確認。

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況
設計・製造工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> プログラム修正方針を詳細設計関係者含めて判断するようプロセスを変更 	<ul style="list-style-type: none"> 左記改善・再発防止策を取り込むかたちで設計・製造の実施要領を取りまとめ、社内専門組織の検査レビューを経て制定
試験工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> 新たな基盤環境のテーブルの正当性を確認するため、変更対象外のテーブルについても、新旧テーブルのコンペアを実施 本番環境を想定した、実取引相当の商用データを用いた疎通試験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 左記改善・再発防止策を取り込むかたちで試験実施要領を取りまとめ、社内専門組織の検査レビューを経て制定 システムテストの事前作業に、商用月末ピーク日相当の疎通確認観点の確認プロセスを追加
復旧対応プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> 障害発生時の復旧ガイドラインの策定 同ガイドラインにもとづく実践的な訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 障害発生時の体制・役割や業務の復旧優先順位等を含む復旧ガイドラインを策定 東京／大阪同時障害のシナリオを検討したうえで、ブラインド訓練の実施計画を策定
再発防止策に対する歯止め	<ul style="list-style-type: none"> 基盤更改等に対する品質保証の観点から、OS非互換の計画段階から非機能観点の知識を持つ基盤人材の参画 NTTデータおよびグループ会社が重要な開発プロセスを分担することで、当該プロセスの実態を把握し、トラブル時の復旧対応におけるフィージビリティの感度を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 左記改善・再発防止策を取り込むかたちで、システム開発計画書（ひな型）および開発実施要領を改正 APIゲートウェイ開発においては、基盤人材の配置を完了。また、試験計画策定プロセスにNTTデータがより深く関与する分担に変更